

## 第2回 北見市地方創生総合戦略策定委員会 議事要旨

- 1 日時 令和元年12月20日(金) 午前10時～午前11時
- 2 場所 北見市立中央図書館 1階 多目的視聴覚室
- 3 出席者
  - (1) 委員 8名中7名出席
    - 中村 研二 委員長 (学・教育機関)
    - 小原 光一 副委員長 (産・産業界)
    - 中嶋 健一 委員 (官・関係行政機関)
    - 武田 研二 委員 (労・労働団体)
    - 藤田 慎也 委員 (言・メディア)
    - 西田 篤史 委員 (士・士業)
    - 住佐 春佳 委員 (公募市民)
  - (2) オブザーバー
    - 立川 康裕 北海道オホーツク総合振興局地域創生部地域政策課主査
  - (3) 事務局
    - 船戸 清司 北見市企画財政部長
    - 伊集院健介 北見市企画財政部次長
    - 工藤 祥久 北見市企画財政部企画政策課長
    - 吉次 直人 北見市企画財政部企画政策課政策係長
- 4 議事
  - (1) 開会
  - (2) 情報提供
  - (3) 議題
    - ①近年の経済・社会情勢の変化及び第1回策定委員会における意見を踏まえた第2期北見市地方創生総合戦略における新たな視点について
    - ②第2期北見市地方創生総合戦略における数値目標と重要業績評価指標(KPI)の考え方について
  - (4) その他
  - (5) 閉会
- 5 会議の公開・非公開の別 公開
- 6 傍聴者 1名
- 7 議事内容の要旨
  - (1) 開会(午前10時)  
略
  - (2) 情報提供  
藤田委員から委員提出資料に基づき説明

### (3) 議題

- ①近年の経済・社会情勢の変化及び第1回策定委員会における意見を踏まえた第2期北見市地方創生総合戦略における新たな視点について  
事務局から配布資料1に基づき説明

#### 主な意見

##### (小原副委員長)

- ・商工会議所では新たな会頭のもと、人材不足解消や事業承継の促進、生産性の向上について、今後3年間取り組む課題として掲げており、今回の第2期北見市地方創生総合戦略の基本目標案と一致しており、内容については概ね同意する。

##### (中嶋委員)

- ・第1回策定委員会でもお話ししたが、有効求人倍率は1倍を超えているが、介護や医療、運輸などの産業は人手不足であり、求職者と雇用主のミスマッチが続いている。増加傾向にある高齢者の求職者について、ミスマッチ解消に結びつくと考えている。公共職業安定所（ハローワーク）としては、企業訪問により、求人票の条件緩和や記載の助言などを実施している。

##### (武田委員)

- ・日本労働組合総連合会では、来年の賃上げ交渉が始まってきた時期であり、最低賃金で全国平均1,000円を目標としているが、北海道は861円と目標には達していない状態。国や道、市に対して最低賃金底上げのための中小企業に対する支援策の充実について要請行動を行っている。賃金が低いために結婚や子育てなどを考えられないという方もおり、十分に安心して生活できる賃金を保障することが重要であり、結果として、人手不足や雇用のミスマッチ解消にもつながってくるのではと考えている。

##### (藤田委員)

- ・案については異論なく、これを追求することが地域の地方創生につながると思っている。しかし、関係人口については定義が難しいことから、交流人口や移住人口など詳細な目標とし、観光プロジェクトについて、観光及び宿泊需要の喚起に係る指標を加えることで、具体的な施策の推進が図られるのではないかと考える。また、航空便やJRなど二次交通の不足や、高速道路の延伸など地域の課題についても考慮いただきたい。

##### (西田委員)

- ・基本目標については、よくまとめられており、このまま進めていければと思うが、目標が多い印象を受けるため、一定程度的絞った方が市の予算も効果的に活用でき、市民も効果が実感できるのではないか。

(住佐委員)

- ・基本目標について、一つ一つまとまっており、特に基本目標3の子どもの居場所・遊び場づくりは、現代社会において子どもが自由に遊べる場所は限られているため、そういった場所が増えることは重要だと感じる。また、関係人口については、数値でとらえることは難しいと思うが、SNS等を通じた市町村のPRが注目されてきている中で、北見市のPR動画等によって観光客や移住者の増加につながる可能性があり、今後注目していきたい単語だと思う。

(中村委員長)

- ・各委員からおおよそ同意をいただいたが、今回出た意見を踏まえ、今後事務局にて整理を進める。

②第2期北見市地方創生総合戦略における数値目標と重要業績評価指標（KPI）の考え方について

事務局から配布資料2に基づき説明

#### 主な意見

(小原副委員長)

- ・KPI設定に関して、最終値が基準値を下回ってしまうことは望ましくないため、第1期の検証を踏まえた数値目標の設定方法や、計画策定後の事業の推進について工夫が必要だと思うので、検討いただきたい。

(武田委員)

- ・基本目標2のKPIとして、市内に就職した市内大学新卒者数があるが、就職してから3年以内に離職する早期離職者が4割程度おり、離職率を低下させる取組が非常に重要であると考えている。管内の各学校を訪問した結果、インターンシップや実習訓練を通じた職場選びが重要であること、また各就職先の情報を全道的に共有できる仕組みがあれば効果的だと思われる。公共職業安定所（ハローワーク）でも具体的な数字は把握できていないと聞いており、目標としては難しいかもしれないが、具体的な施策として加えてはいかがか。意見として申し上げる。

(中村委員長)

- ・事務局案に基づき、委員の意見を踏まえ、進めることとする。

(7) その他

事務局から第3回の委員会を1月7日（火）に開催し、答申（案）を取りまとめることを説明

(8) 閉会（午前11時）